

第1学年通信 夢 ~Dream~

第32号

平成26年12月12日(金)
郡山市立富田中学校第1学年
文責：1学年主任 園部至哉

冬休みの計画をしっかりと立てよう!

2学期も残り少なくなりました。今週は、各クラスで学級活動の時間に2学期の反省や冬休みの計画を立てたかと思います。今年の冬休みは、16日間です。何となく過ごしているとあっという間に終わってしまいますね。期間は短くても宿題は、しっかりとあります。計画的に進めて下さい。また、冬休みは年末年始、家族と時間を共にする時間が増えるかと思います。家族との時間も大切にしていきたいですね。

2学期残り10日、よい新年を迎えるために、しっかりとしたまとめの期間としてくれればと思います。



教室内の消毒液で手を消毒しています。

インフルエンザの流行が例年より早く到来してきました。富田中学校ではまだ罹患生徒はおりませんが、対策として教室内にアルコール消毒液を置いています。かぜやインフルエンザのウイルスは、空気感染よりも接触感染の危険性が多いようです。感染予防には手の消毒が最も効果があります。

1年1組あいさつ運動

12月15日(木)朝7時40分から

1年1組のみなさんは、あいさつ運動を富田中学校昇降口前で実施します。防寒着を着用し、体調管理に注意して行ってください。元気なあいさつを期待しています。保護者のみなさまも、自宅付近で配付された腕章をつけてあいさつ運動をお願いします。

おめでとう!

県生徒造形作品(デザイン) 特選

1名

市中学校生徒造形展(デザイン絵文字) 特選

25名

職業調べ

総合的な学習の時間では、キャリア学習として職業調べを行っています。グループごとに調べた内容を壁新聞にまとめ発表します。グループで協力し合いながら、さまざまな資料をもとに職業について調べることで、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意識決定能力」の育成を目指しています。調べるだけでなく、発表することも考え、より分かりやすい壁新聞を作り上げてくれることを期待しています。また、3学期には、職業講話を実施する予定です。

数学検定

3級 1名

5級 3名

月 日	日課	給食	行 事 な ど	完全下校時刻
12月15日(月)	A5	○	部休日 AET来校 給油日 あいさつ運動1の1	17:30
12月16日(火)	A6	○	SC来校	17:30
12月17日(水)	B6	○	AET来校	17:30
12月18日(木)	A5	○	AET来校 給油日 学校訪問	17:30
12月19日(金)	B6	○	AET来校 学年集会	17:30
12月20日(土)	-	-	県南陸上競技大会冬季中・高合同強化練習会	-
12月21日(日)	-	-	県南陸上競技大会冬季中・高合同強化練習会	-

少年の主張作文

富田地区少年の主張作文で1年6組のYくんが優良賞に選ばれ、先日、富田公民館で行われた授賞式では、参加者の前で堂々と発表することができました。日々の経験の積み重ねが、人を大きく成長させてくれる。中学生で挑戦し、粘り強く取り組めたという経験は、大きな自信となるものです。多くの「確かな経験」を積み重ねられることを期待します。

平成26年度富田地区少年の主張 優良賞

「確かな経験」

富田中学校1年

「県中地区卓球選手権大会カデットの部」これが、僕が生まれて初めて出場した卓球の大会でした。カデット(cadet)とは、英単語で見習生・実習生の意味ですが、卓球では、中学2年生以下の選手たちが出場する全日本選手権のことです。

振り返ってみると、このカデットの部の案内は1学期中に届いたので、1年生にも他校と試合する機会が早くも到来してきたのかと驚きました。この案内では、大会は自由参加で強制ではなかったので、僕は相当悩みました。なぜなら、ちょうどその時、部内での試合で調子があまり良くなかったからです。大会で点が取れず恥をかくだけだと思い込んでしまい、一時は参加をあきらめました。

しかし、すぐに大会への参加を決めた親友が、参加しようと誘って僕を必要としてくれました。参加を決めて練習に励み始めた友達を見て、大会に出たいと強く思うようになり、最終的に自分の意志で参加を決めました。そして、僕を含める1年生7名、2年生7名は大会に向けて練習を重ねました。先輩たちを見ると、練習内容はいつもとほとんど同じですが、まるで実際の大会の場にいるような張りつめた真剣さが、1年生の僕にも伝わりました。

いよいよ大会当日の朝、緊張のあまり普段の調子が崩れるのだけは嫌だと思いつつ、会場に向かいました。会場の郡山市西部体育館には人が集中していて、駐車場やその周辺の道は、選手を送迎する車で混雑していました。体育館二階の観戦席からコートを見下ろすと、会場が小さいのではないかと思えるほど多数の各校卓球部員で埋めつくされていて、圧倒されました。

ついに放送で僕の名前が呼ばれ、試合が始まりました。対戦相手は緑ヶ丘中の1年生です。早速点を取られ続け、あっという間に1・2セット両方とも奪われました。相手の打球に対してうまく打ち返せないで、方法を変えない限り次のセットも落とす事だけはわかります。それなのに、僕は具体的な方法を見つけられません。

その時です。3セットに入る前の1分間のアドバイス時間に、部長の2年生の先輩が、僕の戦いの流れを大きく変える有効な助言をしてくれたのです。内容は「相手のサーブは回転が緩やかなので、カットではなくフォアで返せ。」です。

3セット目が始まり、先輩のアドバイスを行動に移すと、なんと互角に戦えるようになったのです。僕はその後も粘り続け、3・4セット両方取り返しました。この間は、「もう負けた。」と絶対弱音は吐かないと心に誓いました。

結果は、5セット目で9対11で惜しくも僕が敗れました。勝ちたかったです。しかし、先輩のアドバイスを受けてここまで戦えたことが、とても満足でした。

自分の不調が悔しく、いろいろ悩みましたが、カデットの部に出場して本当に良かったです。今は、9月の新人戦に出たい願いも叶い、練習を怠らず一つ一つの練習に自分なりの目標で取り組んでいます。

初めての大会で、先輩の的確なアドバイスがなければ、盛り返すことは不可能でした。先輩には大変感謝しています。そして、僕も一年後には、持てる経験で下級生の役に立てる先輩になりたいと思います。一緒に入部し練習し、試合に出る仲間の助けや支えにもなりたいです。

「確かな経験」とは、カデットの部出場を通して学んだ、挑戦すること、あきらめないことです。また、先輩の経験によるアドバイスのおかげで、僕が一つ成長できたことです。卓球以外の様々な場面でも、最後までチャレンジし、確かな経験を積み重ねていきたいと思っています。